

vol.
48

Tezukayama

大学通信帝塚山

UNIVERSITY LETTER

2020 WINTER

女子バレーボール部 1部秋季リーグ 全勝で初優勝！



Contents

特集	01	キャリアサポート	15
キャンパスレポート	07	卒業生紹介	17
地域連携・大学連携	09	奈良学への招待・書籍紹介	18
IRレポート	11	Close-up News	19
クラブ・サークル紹介	13	イベント・インフォメーション	21
		国際交流・入試情報	23

大学の取組みを保護者の方々に丁寧に伝える

2020年度の前期授業期間は、学生自身やご家族の方々の健康と安全を守ることを第一に、オンラインを活用した授業や学生支援を推進してきました。今年の保護者教育懇談会・就職説明会は、万全の新型コロナウイルス感染症対策を講じて対面方式で開催。どのような状況でも質の高い教育と学生一人ひとりに寄り添った支援を進める大学の基本方針に理解を深めていただくとともに、大学へのご意見、ご要望を直接うかがう機会として、保護者の皆様の貴重な時間を頂戴しました。当日は、コロナ禍の下に保護者の方々の関心が高い「遠隔授業」や「学修環境」の実態や教育の質の向上、就職活動支援などを中心に、大学の取組みを詳しく解説しました。

2020年度 保護者教育懇談会・就職説明会を開催

10月18日、奈良・東生駒キャンパスと奈良・学園前キャンパスで、帝塚山大学保護者教育懇談会・就職説明会を開催し、新型コロナウイルス感染症防止対策のため参加者を制限する中、220家庭から303人もの保護者の方々に参集いただきました。

昨年に引き続き、教育懇談会とキャリアセンター主催の就職説明会とを同時に実施することで、教育内容から就職活動まで、保護者の方々が気になるポイントを一日で網羅しています。今回はコロナ禍の下におけるイベントということに配慮して、学長の挨拶を奈良・東生駒キャンパスから奈良・学園前キャンパスにライブ配信し、保護者の方々に学長の「生」の声をリアルタイムでお届けしました。

就職説明会では、コロナ禍における就職活動をテーマに、就活開始時期、業界動向のほか、就活に対する保護者の心構えについて解説が

行われました。学科に分かれての説明会では、教員の紹介の後、教育内容や学生生活について詳しく紹介。特に、「遠隔授業」の実施内容については、専任教員の担当科目を中心に写真や動画を交えて丁寧に説明がなされました。参加された方々のアンケートからも「遠隔授業の取組みの様子がわかり安心した」といった声が多数聞かれ、オンライン授業に対する関心の高さがうかがえました。

学科の全体説明の後は、ブースに分かれての教員との個別面談のほか施設見学ツアーが行われ、盛況のうちに無事閉会となりました。当日のイベントはすべて録画し、ご参加いただけなかった保護者の方々が閲覧できるよう配信されています。

本学はこれからも、「学生への教育・支援がきめ細かい」大学を目指し、より充実した教育活動を展開してまいります。

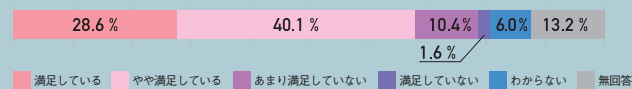


■新型コロナウイルス感染症対策の一環で、奈良・学園前キャンパスの会場に奈良・東生駒キャンパスで挨拶する蓮花一己学長の様子が同時配信された。■保護者の方々の関心が高い「就職説明会」では、不況に強い企業として、学生が普段注目しにくいB to B企業の魅力が詳しく解説された。■学科説明会では、前期に実施した遠隔授業の工夫が丁寧に伝えられ、TALESの機能を活用したインタラクティブな授業の事例が紹介された。■ソーシャルディスタンスを保ちつつの学科別個別面談。面倒見の良い大学として、学業から生活面まで保護者からの相談に真摯に向き合う。■経済経営学部では、アドバンスクラスでの取組みを同クラスに所属する学生が紹介。レベルの高いプレゼンテーションに、保護者の方から賞賛の声が上がった。

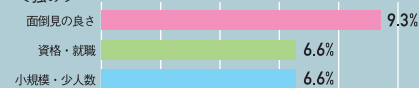
保護者アンケートから 一部のご意見・ご感想を紹介します。

- オンライン授業について内容が詳しくわかって良かったです。コロナ禍でもいろいろ配慮が行き届いていて安心しました。(日本文学学科3年生)
- 地域アクティブラーニングなど特徴のある学びが興味深く、アドバンス学生によるプレゼンもすばしかったです。(経済経営学科1年生)
- 先生方のお話から一人ひとりに寄り添った指導をしてくださっていることがよくわかりました。(法学科2年生)
- アドバイザー制度があるのでいろいろと安心です。(心理学科1年生)
- 国家資格取得への取組みがよく理解できました。興味深かったのは、産学連携や地域連携プロジェクト。就職する際に役に立つと感じました。(食物栄養学科3年生)
- コロナ禍でも工夫して講義をしてくださっていることがよくわかり、仮に再びオンラインのみになっても安心だと感じました。(居住空間デザイン学科3年生)
- 毎年、先生が全員そろって各学年の様子も伝えてくださり、このような状況下でも対面での懇談会を実施していただいたことを貴重な思います。(こども学科4年生)

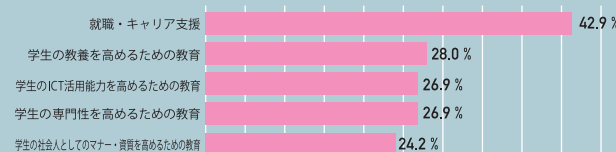
■現時点において、保護者の方は帝塚山大学に対して満足しているか



■帝塚山大学の強み <上位3項目>
<強み>



■今後、本学が特に力を入れるべきと期待するもの(3つまで選択可) <上位5項目>



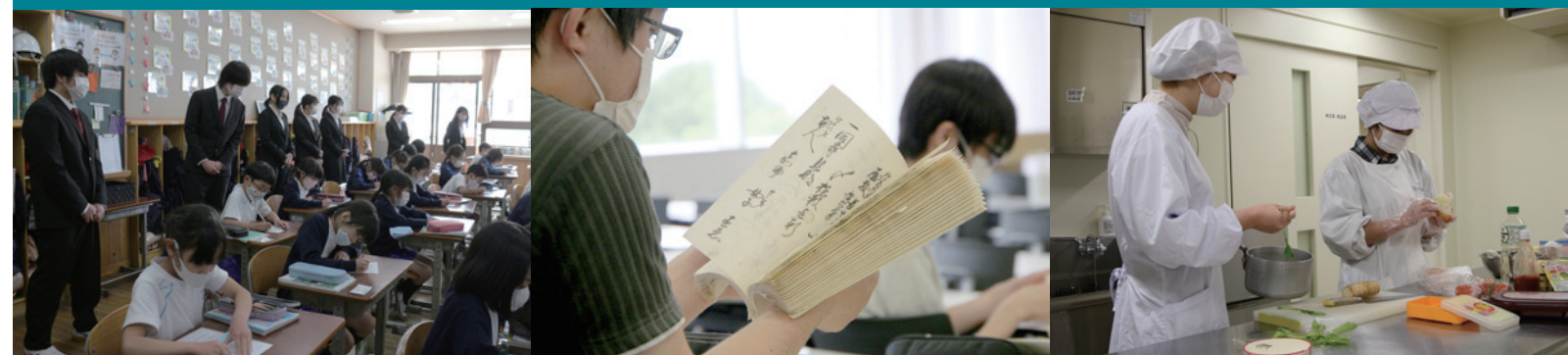
キャンパスライフを取り戻そう 帝塚山大学が目指す 「面倒見の良さ」

2020年後期は、大学キャンパスで安心して学ぶことができる環境を維持するため、オンラインによる遠隔授業と対面授業を併用するハイブリッド型授業を進めてきました。前期に実施のオンライン授業での実績や学生へのアンケート結果をもとに、本学独自のe-ラーニングシステムTALES(Tezukayama Active Learning Education Square)の一層の活用や、遠隔でも可能な「プロジェクト型学修」に加え、感染対策を講じての対面授業の実施など、「実学の帝塚山大学」ならではの質の高い教育を目指して継続的に工夫を重ねています。

ただ、大学生活においては、学びもさることながら人と人の触れ合いも大切な要素であることは間違いありません。学生には、充実した学びとともに、大学生ならではのキャンパスライフも必要です。人と人とのつながりを大切に、真に面倒見の良い大学を目指す本学の取組みを紹介します。



大学構内に附属博物館を有する本学は、学外での実習が難しいことも多いコロナ禍の場合でも、本物に触れることのできる授業が実施できるのが強み。この日も、学芸員課程を履修する学生らは、大学院生が調査にかかわった新出の仏像展示を見学し展示の工夫について学んだ。同博物館では、毎年1月、専門的な学びの集大成として学生による企画展示が行われる。





第56回帝塚山大学大学祭「虹色祭」を開催しました

いつもなら桜が咲くキャンパスの至るところで見られていたクラブ・サークルの勧誘。GW前の恒例行事、新入生歓迎会「あかね祭」。大学で新たに会った友人たちと楽しむ学食での団らん。図書館で一緒に勉強するひととき。新入生が同級生や先輩と出会い、交流を深める機会が、今年は新型コロナウイルスによって失われてしまいました。「失われたキャンパスライフを新入生に楽しんでもらいたい」今年の大学祭「虹色祭」は、大学祭実行委員会と教職員のそんな熱い思いから「新入生歓迎会」として企画されたものです。

例年は一般の来場者も受け入れる「虹色祭」ですが、今年は学生と教職員に限定。サーモモニターによる検温や、タグ着用による入退場管理に加え、手指消毒やマスク着用の励行、換気に配慮し3密を避け

る会場配置など、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を講じて、半日限りの「虹色祭」を開催しました。

11月21日の13:00から始まった「虹色祭」は、学科での学びの展示や交流ゲーム、30団体を越えるクラブ・サークルのステージパフォーマンスのほか、留学生歓迎会も行われました。ほかに、学科の教員による模擬店や悩み相談ブースが設けられるなど、親交を深めることを目的とした催しが盛りだくさん。天候にも恵まれ、多くの新入生が奈良・東生駒キャンパスがに集まりました。イベントの最後を飾るのは、「虹色祭」恒例の打ち上げ花火。音楽に合わせて花火が上がると、夜空を鮮やかに彩る大輪の花の下、参加した新入生は初めてのキャンパスライフに満足した様子でした。

コロナ禍でもキャンパスライフを楽しんで

冬の奈良・学園前キャンパスを彩る光の祭典

今年で16回目となる奈良・学園前キャンパスイルミネーション。テーマは『非日常を見つめる』です。コロナ禍により発生した非日常の日々を、イルミネーションの幻想的な空間の中で見つめなおしてほしいという思いから、イルミネーション推進委員会がデザインしたものです。

12月4日に行われた点灯式では、蓮花一己学長の挨拶に続き、イルミネーション推進委員会代表の小山聡太さん（居住空間デザイン学科2年）が挨拶。その後、MCによるカウントダウンの合図でイルミネーションに一気に光がともされると、きらめきに彩られた幻想的な空間が出現しました。

今年は新型コロナウイルス感染症対策のために、恒例のダンスパフォーマンスや無料のスープ配布は取りやめ、代わりに温かい缶ドリンクが来場者に振る舞われました。あたりが暗さを増す6時ごろには、授業が終わって帰途につく学生らも交じり、皆が「きれい!」「きらきらしてる」と口にしなが、友人同士での記念撮影に興じていました。

昨年から点灯期間を授業が終講する2月まで延長し、より多くの学生や教職員に、光が織りなす学園前キャンパスをお楽しみいただけるようになりました。冬季限定の非日常空間をぜひ体験してください。



1 渡り廊下を飾る華やかな緑のカーテン。
2 コンセプトは「夜空を歩く」。一足ごとに星が瞬く。
3 図書館前は、つらから光の雫がはかなく溶け落ちるかのようなデザイン。

点灯時間 17:00～20:00
点灯期間 2021年2月7日(日)まで
(一般の方は入場いただけません)

イルミネーションで
非日常の日々を
見つめなおして!

イルミネーション推進委員会
代表 小山聡太さん
(居住空間デザイン学科2年)

万全の感染防止対策で対面授業を段階的に再開

本学では、学生にできる限り多くの対面授業を受講してもらえるよう、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ実習などの授業を後期より段階的に再開させています。また、オンライン授業に関する教職員の講習会や情報交換を実施し、教育の質の向上に努めています。本学の恵まれた学修環境を生かしながら、Withコロナ時代に必須のハイブリッド型授業としてオンラインと対面双方の利点を生かした、「実学の帝塚山大学」ならではの教育を追求しています。



- 1 日本文化学科では、新入生が歴史、考古、民俗、文学、美術などの日本文化の豊かな学びに触れられるよう、好きな授業を見学できる「自由講義」を設定。
- 2 十分な距離を保って心理学の知能検査を行う。本授業では、心理学の全分野をリレー形式で体験し、学びの幅を広げる。
- 3 食物栄養学科の「基礎実験」。器具や機器の取り扱い方、試薬の調製方法など、実験に関する基礎知識と操作方法を学び、今後の専門的な授業に備える。
- 4 奈良県の担当者招いて「ジェンダーの観点による働き方」について学ぶ。対面と遠隔のどちらでも選択できるハイブリッド型で授業を実施。
- 5 SDGsとソーシャルビジネスに関する経済経営学部の講義。大教室を広く使用して万全の対策を講じ、リアルビジネスについて知識を深める。
- 6 教育学部の併設校インターンシップ。同一キャンパス内に系列の小学校がある恵まれた環境だから、コロナ禍における小学校の取組みもリアルで学べる。
- 7 子育て支援センターでのオンライン「集いの広場」。地域の子育てサポートに学生が参加し、新入生はその様子を見学。この回は新入生も一緒に踊って盛り上げた。
- 8 心理学部のオリエンテーションでは、2教室での配信授業を行い、感染対策をしながらも、学生皆が同じ時間帯で同時受講できるよう工夫。
- 9 居住空間デザイン学科での「1day設計」の授業。学生一人につき1台がそろそろ製図台もソーシャルディスタンスを確保し、模様替え。
- 10 本来は春先に行うはずだった図書館ガイダンス。少人数のグループに分かれ、アカデミックスキルの養成に必須となる図書館の使い方を学ぶ。
- 11 構内に博物館がある本学は、学芸員実習を学内で実施できるのがメリット。この回は、本物の史資料を教室に運び、永原家に伝わった文書の宗門改帳を読み解いた。

学びの質を大切に より質の高いオンライン授業へと進化させるために

令和2年度第1回FDフォーラム 「オンライン授業の設計を考えるーリスク社会における学びを育むー」を実施しました



関西大学教育推進部 岩崎千晶 准教授

9月3日、令和2(2020)年度の第1回目となるFD (Faculty Development: 授業改善の取組み)フォーラムを開催し、「オンライン授業の設計を考えるーリスク社会における学びを育むー」と題して、関西大学教育推進部の岩崎千晶准教授にご講演いただきました。本講演は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からWeb会議ツール「Zoom」で実施し、教職員122人が参加しました。

岩崎先生は、オンライン授業では特に、①学習目標②評価方法③教育方法の3点を確認しつつ授業を設計することが重要だと話され、具体的には、①1回の授業ごとに目標達成できる方法を考える(スモールステップ)②学生が自身の目標到達度を判断できる評価方法で評価のされ方を理解できるようにする③授業目標を達成するよりよい教育方法を選ぶ(映像視聴、資料提示など)ことが効果的であると解説されました。

本学は、対面授業と遜色のない学修成果を遠隔授業でも果たせるよう、これまで以上にFD活動を推進し、質の高い教育を学生に提供するように努めてまいります。



女子バレーボール部の歩み

創部	1977年
部長(代表者)	管田祐美子
顧問	向井篤弘
監督	本田知広
部員数	女20名
	(2020年4月1日現在)

関西大学バレーボール連盟でのリーグ推移

2007	春季	7部	4位
	秋季	7部	優勝
2009	春季	6部	優勝
	秋季	5部	優勝
2010	春季	4部	優勝
	秋季	3部	5位
2014	春季	3部	優勝
	秋季	2部	優勝
2015	春季	1部	5位
	秋季	2部	優勝
2018	春季	1部	4位
	秋季	1部	4位
2019	春季	新型コロナウイルスにより中止	
	秋季	1部	優勝(全勝優勝)

秩父宮賜杯全日本女子バレーボール大学選手権大会 戦績
【2015年の初出場から6年連続出場】

2015	2回戦	初出場
2016	初戦	
2017	2回戦	
2018	2回戦	
2019	3回戦	ベスト16
2020	3回戦	ベスト16

関西大学女子バレーボール連盟より贈られた優勝カップ、トロフィーおよび個人賞の盾は、奈良・東生駒キャンパスの3号館1F入口に展示されています。来期以降も同じ場所に優勝カップを飾ることを目標に、部員一同、一丸となって高みを目指していきます。



▲リーグ戦成功の立役者、染川さん

磨かれた帝塚山全員バレーの真価が発揮されました。最優秀選手賞をはじめとする各賞にも多数の本学学生が選出され、女子バレーボール部の初の快挙に導いた本田監督には最優秀監督賞が贈られるなど、チームの力に加え個人の能力面でも高い評価を受けました。また、コロナ禍でのリーグ開催にあたっては、関西大学バレーボール連盟で副理事長と関西学連委員長を務める、染川遥香さん(こども学科4年)が各所との調整に尽力し、リーグ運営を支えるという大役を果たしました。

最優秀選手賞を受賞した管田祐美子さん(経営学科4年)は、「今季は立

強化指定スポーツとなつてから14年。新たな歴史を刻んだ女子バレーボール部は、名実ともに強豪校へと成長を遂げ、次なる目標を早くも1部リーグ連覇、全日本インカレ優勝と見定め、練習に励んでいます。

ち上がりが不安定で苦しいときもあったが、諦めずに勝ちにつなげられた。最優秀選手賞は一緒にがんばった皆が取らせてくれた賞です」とリーグ戦を振り返りました。

最終戦後に行われる予定だった表彰式を、11月26日、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため本学奈良・東生駒キャンパス会議ホールで実施しました。関西大学バレーボール連盟より賞状と優勝カップが贈られるとともに、個人賞の表彰が行われ、同連盟の黒田進会長代行から「優勝してこれからは追われる立場になるが、チャレンジャーの気持ちで12月の全日本選手権に挑んでほしい」と熱いエールが送られました。

奈良県で28年ぶりの1部リーグ優勝に、喜びの瞬間をとらえようと多くのマスコミが取材に詰めかけました。



奈良・東生駒キャンパスで連盟による表彰式

女子バレーボール部 11戦全勝で初優勝！
関西大学バレーボール連盟女子1部秋季リーグ戦
奈良県で28年ぶりの優勝に一同が歓喜！

帝塚山大学女子バレーボール部は、11月8日に行われた「関西大学バレーボール連盟」女子1部秋季リーグ最終戦で、強豪 神戸親和女子大学をセットカウント3-0で制し、1部リーグで初優勝という栄冠に輝きました。同リーグでの奈良県勢の優勝は、1992年1部秋季リーグでの天理大学以来、28年ぶりの快挙です。

女子バレーボール部は1977年創部、2007年に強化指定スポーツとなった際には7部リーグに所属していました。その後着実に昇格を果たし、2015年には1部リーグへ仲間入り。2018年春季リーグ戦では2部降格を経験しましたが、続く秋季リーグ戦では全勝優勝で1部リーグへと復帰。直後の2019年春季リーグ戦で女子バレーボール部史上最高順位となる4位、秋季リーグでも4位の好成績を収め、更なる躍進を誓い練習を重ねてきました。

2020年度春季リーグは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となり、大学内への入構制限で普段通りの練習もままならない状況が続くなど、選手一人ひとりのバレーボールへの思いの強さが試される厳しい時期となりました。そんな困難な状況下にあっても、選手たちは自分に向き合い、今できることは何かを必死に考えて実践する日々を過ごしました。

秋季リーグ戦の序盤は苦しい試合展開もありましたが、持ち前の粘り強いバレーで白星を重ね、11勝0敗と全勝での優勝。本田知広監督の指導のもと

2020年度
関西大学バレーボール連盟
女子1部秋季リーグ
試合結果

帝塚山大学 11勝0敗 優勝

○帝塚山大学	3-0	龍谷大学●
○帝塚山大学	3-1	神戸親和女子大学●
○帝塚山大学	3-0	千里金蘭大学●
○帝塚山大学	3-2	神戸学院大学●
○帝塚山大学	3-1	大阪国際大学●
○帝塚山大学	3-1	京都橘大学●
○帝塚山大学	3-1	武庫川女子大学●
○帝塚山大学	3-1	関西大学●
○帝塚山大学	3-1	芦屋大学●
○帝塚山大学	3-1	園田学園女子大学●
○帝塚山大学	3-0	京都産業大学●

【各種個人賞】

◆最優秀選手賞	管田 祐美子 (経営学科4年)
◆スパイク賞	吉田 美海 (こども学科3年)
◆サーブ賞	北山 佳月 (経済経営学科1年)
◆セッター賞	大西 風歌 (法学科2年)
◆新人賞	北山 佳月 (経済経営学科1年)
◆最優秀監督賞	本田 知広

最優秀選手賞
管田祐美子さんスパイク賞
吉田美海さんセッター賞
大西風歌さんサーブ賞・新人賞
北山佳月さん最優秀監督賞
本田知広さん

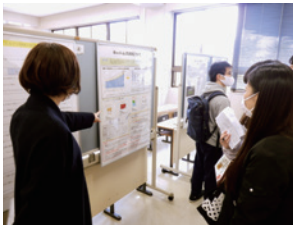
経済経営学部 経済経営学科

ゼミ研究報告会
バラエティに富む研究課題で下級生にプレゼン

経済経営学部では、11月後半に「ゼミ研究報告会」を実施しており、今年で9回目を迎えました。本報告会は、3年生がゼミでの研究内容を「プレゼンテーション部門」と「ポスター部門」に分かれて報告するというものです。

1、2年生は、それを視聴・見学するとともに、今後の研究のヒントを探すきっかけにしています。

今年は新型コロナウイルスの感染防止対策のため、例年とは異なる形式での開催となりましたが、参加した1年生は先輩のプ



レゼンに熱心に耳を傾けたり、ポスターを見て議論を交わしたりしていました。

また、すべての報告の中から、各部門の最優秀賞や優秀賞が表彰されました。

教育学部 こども教育学科

トライアル実習Ⅰー帝塚山小学校での見学実習ー



トライアル実習Ⅰとして、1年生が帝塚山小学校を見学しました。初めに小学校の教員に説明を受けてから、授業が行われている教室などでグループに分かれて見学しました。体育の授業を見学したグループは、体育館の上から子どもたちが縄跳びや

体操などを行う様子を観察しました。授業全体だけでなく、先生が児童をどのようにサポートしているかもじっくりと見ることで、学生にとっては「小学校の現場」を知るための有意義な時間となりました。

心理学部 心理学科

感染予防対策をしながらロールプレイ
心理学の基礎を体験して学ぶ

後期は一部の授業が対面となり、1年次の必修科目「心理学基礎演習Ⅱ」も対面で行われています。4月に入学した1年生にとっては、初めての大学での授業となります。「心理学基礎演習Ⅱ」では、教員それぞれの心理学の専門分野に基づいて体験や演習を主としたリレー授業が展開されます。いつもはペアでロールプレイに取り組みますが、今回は感染予防のため、学生は直接の会話は控えて互いのワークシートを見せ合ったり、



教員が代わりにシートに書かれた意見を読み上げたりしながら、工夫して授業を進めています。

心理科学研究科 心理科学専攻

分野の異なる研究領域が一堂に
大学院修士論文中間報告会



心理科学研究科では、10月28日に修士論文中間報告会を開催しました。今年度は、心理学専修と臨床心理学専修が初めて合同で実施し、分野の異なる研究について理解を深める良い機会となりました。コロナ禍の中での研究指導やデータ収集には苦労もありますが、大学院生はそれぞれの研究にしっかり取り組んでいます。活発な質疑応答が行われ、充実した報告会となりました。

現代生活学部 居住空間デザイン学科

「京都デザイン賞2020」で
3人が各賞を受賞

ビジュアルデザイン実習Ⅱの授業で「京都デザイン賞2020」というコンペティションに挑戦しました。授業での提出作品の中で特に優秀な10作品をブラッシュアップして出品したところ、98点に及び応募作品の中から、岡野愛子さん(居住空間デザイン

学科3年)が入賞、新開美優さん(同3年)と能城紗英さん(同3年)が入選を果たしました。作品は、11月13日から15日にかけて、京都の「くろちく天正館」で展示され、21日には虹色祭でも学内関係者に披露となりました。



▲(左)岡野さん (右上)新開さん (右下)能城さん

文学部 文化創造学科

スマートフォン動画
地域の文化を発信



牟田口章人客員教授が担当する「メディア表現演習A」では、スマートフォン動画で奈良の魅力を発信するコンテンツ作りに取り組んでいます。対面授業が再開された7月には、新型コロナウイルス対策に細心の注意を払い

つつ、奈良公園と生駒山宝山寺でフィールドワークを実施しました。無振動装置で撮影された動力発信するコンテンツ作りで、画は、手振れもなく美しい映像で、学生のナレーションも入って完成度の高い観光用コンテンツに仕上がりました。

現代生活学部 食物栄養学科

大和野菜の魅力を伝える
KCNまがじん「大和野菜でクッキング」を連載



▲2020年5月号掲載 半白ぎゅうり



▲レシピの試作

佐伯ゼミでは、学生が考案した旬の大和野菜を使用したレシピを近鉄ケーブルネットワーク(KCN)で、毎月紹介しています。これは、2019年4月から奈良学研究の一環で、大和野菜を通じて奈良の食文化を再発見し、若い世代につなぐという普及活動を目的とした取り組みです。学生はゼミ活動を中心とした産学連携のプロジェクト型学習を通じて、食と健康の分野で活躍するために必要な実践力を着実に身に付けています。

帝塚山大学大学院より GRADUATE SCHOOL

人文科学研究科
日本伝統文化専攻

京都府南山城地域の文化財調査



日本伝統文化専攻の大学院生は、本学教員が実施する南山城地域の文化財調査に参加しました。京都府井手町西福寺(多賀地区)、同町西福寺(井手地区)の両寺では仏像の調査を行い、仏像の計測や写真撮影を担当しました。また、調査の成果を公表するため、本学附属博物館で開催した特別展示「木津川をめぐる神と仏ー井手・城陽の調査からー」(2020年10月16日～11月28日)では指導教員のアドバイスを受けながら仏像の展示やポスターの作成を行いました。

多摩大学との大学連携による各種取り組み

TAMA UNIVERCITY × TEZUKAYAMA UNIVERSITY

12月12日、本学と「学術交流に関する包括協定」を締結する多摩大学（東京都多摩市）との大学連携事業、「多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭」を開催しました。今年で12回目を迎える本発表祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多摩大学キャンパスと本学学園前キャンパスをつないで、初のオンライン実施となりました。

発表チームは多摩大学を中心とした20組。本学からは、現代生活学部こども学科4年の中村祐輔さん、永尾和輝さんが、絵本づくりを通じて子どもたちの言語能力を鍛える「ダヴィンチ・マスターズ」、文学部文化創造学科4年の網野善之介さん、杉本美里さんが(有)井上企画・幅とのコラボで商品開発した拝観券ホルダー「券葉集」について、プロジェクトの実践例を報告しました。15分という限られた時間での発表でしたが、「実学の帝塚山大学」ならではの地域連携での成果はインパクト十分。オンライン会議ツール「Zoom」を介して両大学の活発な質疑応答が行われました。

今年度はコロナ禍により、多摩大学との学術交流事業は、飛騨・高山での産学官連携共同授業「地域・アクティブ・ラーニング」に続いてのオンライン実施になりましたが、本学主催の「実践学生発表祭」は翌年2月20日、多摩大学からの招待チームを迎えて、奈良・東生駒キャンパスで開催する予定です。

両大学とも、一日も早い対面での交流の実現を期待し、奈良での2月の再会を約束して今年の発表祭は閉幕しました。

地域連携プロジェクトの成果を発表 「第12回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭」を初のオンライン開催 本学からは2チームが参加



▲多摩大学キャンパスの大教室に映し出された本学の発表



▲券葉集は万葉集に着想を得たアイデア商品

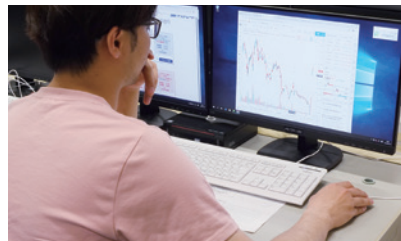


▲「言葉の力がつく！世界に一つだけの絵本づくり」を発表することも学科の学生ら

産学連携による大学初の実践的「金融リテラシー講座」の集大成 SBI FXトレード株式会社、名古屋証券取引所と連携講座をオンライン開講



▲FX取引を通じて金融リテラシーを身に付ける実践的な講義(2019年度)



▲経済学と金融教育。大学業界初の授業に注目が集まった



▲ライブ授業とオンデマンド配信でじっくり学べる

日本人の金融リテラシーレベルは諸外国と比較して低いことが指摘されており、適切な金融行動を取るためには早い段階からの金融教育が必要とされています。

本学はネット証券会社最大のSBIグループ2社と2019年1月に連携協定を結び、学生が金融知識を身に付け、金融経済事情の理解を深めることをねらいとした「金融リテラシー教育」を、経済経営学部で開講する「経済学と金融教育」や「経済学と株式投資」の授業において展開してきました。

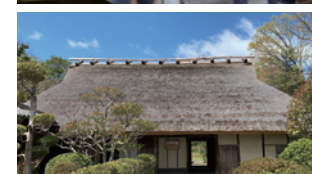
アカデミック口座で実際のFX取引を行うことで金融商品の特性やリスクの概念を学び、外国為替市場の動向や金融行動に必要な知識を修得するという実践的な金融リテラシー教育は、大学業界初の先進的な取り組みとして各所より注目されています。同年、本学が大会校を務めた「産学連携学会」においては、経済経営学部の学生が学識経験者や実務家などの専門家に前にFX取引の事例発表を行うなど、学生は着実に金融リテラシーの知識を伸ばしてきました。

これらの金融リテラシー教育の成果と知見を社会に発信、共有することを目的に、SBI FXトレード株式会社や名古屋証券取引所の協賛のもと、社会人向けのオンライン講座「金融リテラシー講座」を2020年10月から12月まで開講しました。同講座には、経済経営学部の学生も参加し、金融業界の最前線で活躍するプロフェッショナルや著名な投資家から、株式投資と外国為替市場について最新の情報を学びました。また、Web会議システム「Zoom」を活用して、学生は社会人受講者と交流。「もっと早くこのような実践的な講座に出会いたかった」という声が聞かれたほか、具体的な金融取引について情報交流を行い、金融リテラシーに関する知識にさらに磨きをかけました。

地域連携の取り組み

LOCAL COMMUNITY × TEZUKAYAMA UNIVERSITY

学外の博物館とコラボ 県立民俗博物館「みんなく秋まつり」で 古民家の特徴や暮らしを紹介



▲イベント会場となった県立民俗博物館内の本物の古民家



▲カマドは来場者に大人気



▲難問の古民家クイズに悩む小学生たち



▲本学大学院修士の学芸員から文化発信のコツを学ぶ

日本文化学科の高田照世教授（専門…民俗学）ゼミの学生が、11月21日と22日の両日、県立民俗博物館主催の「みんなく秋まつり」において、奈良の昔の家と道具について学ぶクイズ型ワークショップを開きました。

イベント会場は、同博物館の敷地内に桜井市から移設された本物の古民家「旧萩原家」です。学生は、来場者にカマドやナンド（納戸）、ウマヤ（馬屋）などの実物を見てもらいながら、それぞれの特徴に関してクイズを出題。実際に羽釜が置かれ火がくべられたカマドを物珍しそつにのぞき込む子どもたちが次々と訪れ、土間はクイズに挑戦する親子連れでにぎわいました。また、古民家暮らしを経験されていた方から当時の暮らしについて話を聞くことができるなど、学生にとって予想外の収穫もありました。

来場者に配布されたリーフレットは、コロナ禍で現地での聞き取り調査ができない中、文献などを調査して仕上げた力作。QRコードを読み込むと、学生が民俗学の知識をもとに制作した解説動画でクイズの回答が案内される仕組みです。解説のほかにも、お楽しみ企画として、奈良に伝わる昔話「大和のかえろと河内のかえろ」を、留学生が英語、中国語、アラビア語、マレーシア語、日本語の5か国語で朗読した動画も収められています。

動画制作にあたって、学生は、学芸員を務める本学大学院の修士生から、幅広い世代の人たちに向けて、専門知識をわかりやすく発信する方法やノウハウを学びました。2015年度から続く「昔の暮らし」を伝える民俗学のプロジェクトは、年々進化を遂げています。

※カマド、ナンド、ウマヤは民俗学の正式表記である「カマド」に統一しています。

「白身魚」と「赤身魚」の違いってなあに？ 学園内教育連携で、「食育活動」を推進



▲園児にお魚クイズを出題



▲栄養バランスだけでなく、彩りも考えられている



▲待ちに待った給食

食料栄養学科の新宅・佐伯ゼミでは、帝塚山学園内の教育連携の一環で、管理栄養士を目指す学生が帝塚山幼稚園の給食の献立を考案し、給食提供時に食の楽しさや大切さを園児に理解してもらう「食育活動」を実施しています。

11月5日に実施した食育活動では、「白身魚」と「赤身魚」を取り上げ、学生が自作の紙芝居を使って、クイズ形式で「白身魚」と「赤身魚」の違いや、給食の献立メニューの「サワラ」の栄養や効能について楽しく伝えました。園児たちは「フグは白身！」「サンマはどっち？」「サワラは知らない！」とはしゃぎながら、元気よく手を上げてクイズに答えていました。食材の旬にこだわった給食は園児たちにも好評で、お弁当箱を開けた瞬間に皆から歓声が上がりました。

帝塚山学園ウォーターのラベルがリニューアル デザインコンペに 居住空間デザイン学科の学生が挑戦

本学の自動販売機で購入することができる帝塚山学園オリジナルの「帝塚山学園ウォーター」。そのボトルラベルのデザインリニューアル・コンペティションに、居住空間デザイン学科の学生が挑みました。

10月23日に行われた最終審査のプレゼンテーションに臨んだのは、学科の教員による1次選考を経て選ばれた、中尾彩乃さん（居住空間デザイン学科3年）、松岡優月さん（同3年）山野陽南子さん（同3年）の3人。デザインのコンセプトシートとモックアップ（試作デザイン）を手に、審査員を務める吉川勝久 帝塚山学園理事長らに向けて、自身の作品のデザインのねらいについて熱く語りました。

厳正なる審査の結果、デザイン採用の栄誉を勝ち取ったのは松岡優月さん。新ラベルには、松岡さん考案の水の妖精「ムルル」とステンドグラスを模した大きな水の雫が描かれており、すっきりしつつもかわいらしいデザインです。早ければ2021年の春には、帝塚山学園内各学校に設置されている自動販売機に、新ラベルウォーターがお目見えする予定です。



◀理事長と記念撮影
左から順に、吉川勝久 帝塚山学園理事長、松岡さん、山野さん、中尾さん

IR REPORT

※ IRとはInstitutional Research（インスティテューショナル・リサーチ）の略称で、大学の教育・研究などに関する情報の収集・分析を通して、大学の経営に関する意思決定や、教育の改善のための計画策定などの支援を行うことを指します。

学習行動調査からみる帝塚山大学生

帝塚山大学では、入学から卒業までの大学生生活4年間を通して、学生を対象とした各種アンケートを定期的に実施し、その結果を教育活動・学生支援の改善に生かすべくIR※に取り組んでいます。その取り組みのひとつとして、「学習行動調査」では、在学生を対象に、「毎年度、前期・後期それぞれ履修登録期間中、学習経験や学習時間、大学の学びで身についた力・知識等を調査しています。今回は、この「学習行動調査」の結果を分析し、導き出された課題を整理することで、今後の本学の教育研究活動や学生支援の改善に役立てていきたいと考えています。

学習行動調査は、前期・後期の各期における履修登録期間中に実施しており、学生は前の学期の学習行動を振り返る形で回答しています。今回ご報告します調査のうち、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、多くの科目が遠隔授業となった今年度前期授業期間の学習行動に基づく後期履修登録時の調査と、それ以前の対面授業を主とした学習行動に基づく調査では、前提となる学生の学習環境が大きく変わっています。また、前期調査と後期調査では設問の内容も異なります。そのため、前期と後期、あるいは昨年度

と今年度の調査結果を単純に比較できるものではありませんが、対面授業と遠隔授業という授業形態・方法の違いが学生の学習行動にどのような変化をもたらしたのか、新型コロナウイルスの影響も踏まえて、学生の学習行動の姿容を読み解いてみたいと思います。

主体的な学びへ 高まる学生の学習意欲

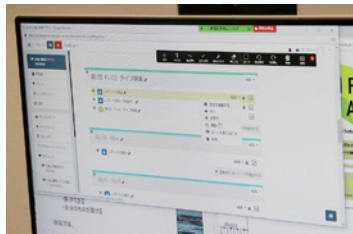
新型コロナウイルスの影響を受ける前の前期調査において、「大学の授業に普段どのように取り組んでいるか」を項目ごとに尋ねたところ、「あてはまる」と回答した学生の割合は、いずれの学習行動においても昨年調査と比べて高い傾向を示し、学生の学習意欲の伸びが確認できました。項目別に見てみると、特に、「授業でわからなかったことは、自分で調べる」（79.9%）、「授業で興味をもったことについて自主的に学習する」（72.9%）、「グループワークやディスカッションで自分の意見を言う」（68.5%）が、2020年度前期の授業等の振り返りとして、新型コロナウイルスの影響により、対面授業から遠隔授業へと移行したことで、学生が主体的に学習する意欲が高まっていることがうかがえます。

改善傾向を示す 授業時間「外」の学習時間

新型コロナウイルス感染症拡大により遠隔授業が中心となった今年度前期の学習行動に基づく後期調査において、「授業開講期間中1週間あたりの授業時間外の学習時間」を尋ねたところ、「6時間以上」と回答した学生の割合は34.7%で、昨年調査と比べて6.4%増加しました。一方、「0時間」と回答した学生は14.5%で昨年よりも5.3%減少しました。全国的に少ないことが言われ、本学でも同様に課題となっている学習時間ですが、今回の調査では昨年までの学習時間と比べて顕著な伸びが見られ、改善傾向を示していると言えます。遠隔授業になったことで、学生からは「課題が多い」ことに苦労したという声も



▲オンラインによる授業の様子（研究室）



▲本学独自のeラーニングシステムTALES（Tezukayama Active Learning Education Square）による遠隔授業

コロナ前後で大きく 伸びた学生の成長実感

後期調査で、「これまで身についたと思う力や知識」を尋ねたところ、昨年と比較してほとんどの項目で数値の向上が見られました。図3. さらに

に項目別に見ると、上位3項目は主体性（44.7%）、実行力（35.6%）、計画力（33.7%）で、昨年と順位に変わりはありませんでした。一方、下位3項目は、外国語（5.6%）、発信力（17.3%）、専門的知識（19.7%）で、昨年と比べて顕著な伸びが見られ、改善傾向を示していると言えます。遠隔授業になったことで、学生からは「課題が多い」ことに苦労したという声も

7%で、昨年の下位3項目「外国語（6.6%）・発信力（15.3%）・ITスキル（16.3%）」からやや順位に変動がありました。また、昨年と比べて特に大きな伸びを示したものは、計画力（25.2%）で、昨年と比べて顕著な伸びが見られ、改善傾向を示していると言えます。遠隔授業になったことで、学生からは「課題が多い」ことに苦労したという声も

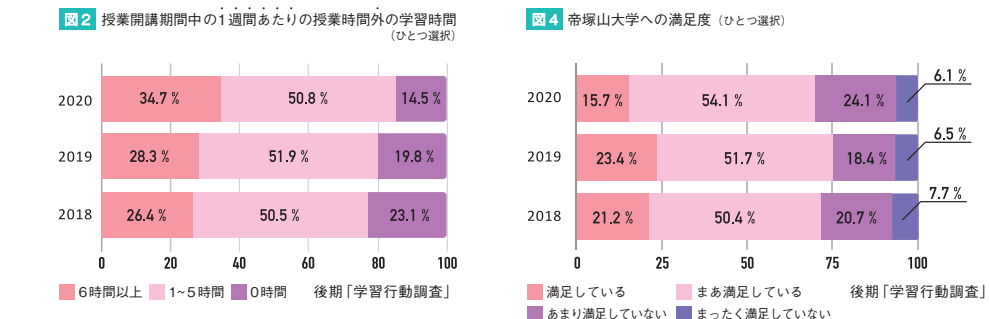
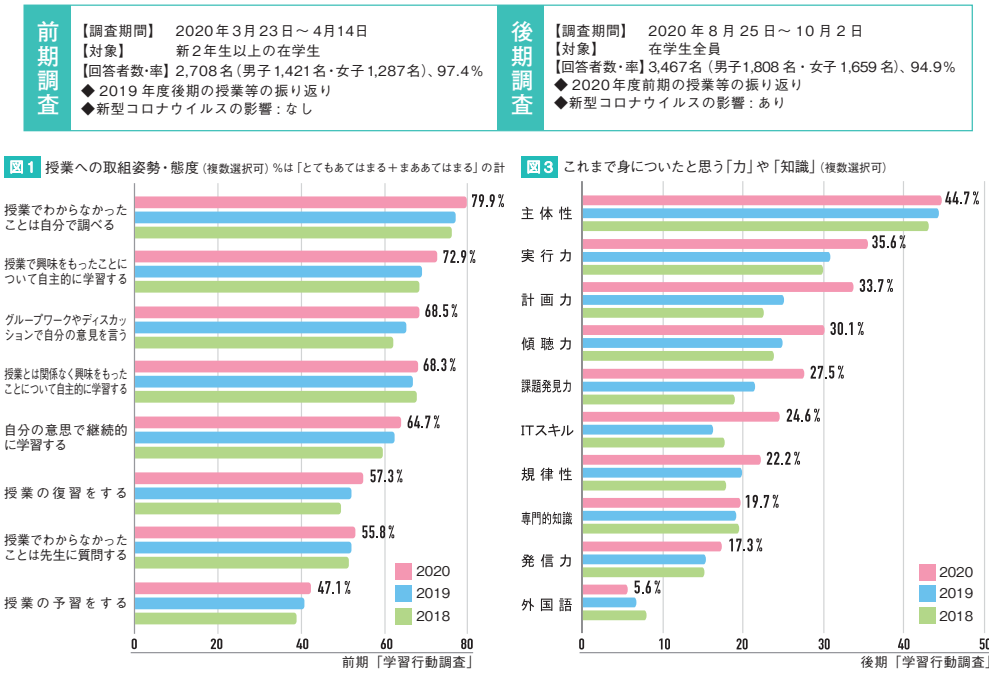
課題の見える 帝塚山大学への満足度

後期調査で、「帝塚山大学に満足しているか」を尋ねたところ、「満足している」「まあ満足している」と回答した割合の合計は69.8%で昨年よりやや減少しました。図4. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面授業の多くを取り止めるを得なかったことなど、制限されたキャンパスライフを余儀なくされたこともひとつの原因かもしれません。

紙面の都合上、全ての設問を掲載することはできませんでしたが、今回の調査結果について、今後、大学としてさらに検証を重ね、学生の満足度向上に繋げられるよう教育・学生支援の改善・充実に取り組んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、10月に開催しました保護者教育懇談会・就職説明会におきまして保護者アンケートを実施いたしました。ご協力いただきました皆様深く感謝いたします。ありがとうございました。

2020年度学習行動調査実施概要



●調査方法
webによる各期の授業科目の履修登録画面にアンケート設問が自動表示され、その場で入力

※前期と後期では設問が異なります。
※調査結果の比率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

①活動内容 ②アピールポイント ③今年の目標

奈良・東生駒キャンパス

アメリカンフットボール部

ヒーローになりたいなら、アメフト部へ集え！体づくりも万全です。

- ① 月・金・土・日の週4回、東生駒の第二グラウンドで活動している準クラブです。コンタクトスポーツなので体づくりはしっかりと。スポーツマンシップにのっとり、皆がヒーローになれる場所です。
- ② 個性豊かな部員がそろそろ、笑いの絶えないチームです。大学で何かを始めたい、体を大きくして男らしくなりたい、どんな理由でも大歓迎。夏冬には親睦を深める旅行もあり。しかも1年生は部費免除！
- ③ 新型コロナウイルスの影響で厳しい1年でしたが、相手への思いやりをモットーに、怖がらずに前を向いてシーズンを戦い抜きたいと思えます。



代表からひとこと

湊 陽亮さん（法学科4年）



奈良・東生駒キャンパス

軽音楽部

好きなジャンルの音楽を
思う存分楽しめる！

- ① 年に4-5回、大学やライブハウスでライブをします。ライブ本番に向けてバンドを組んで練習するだけでなく、夏合宿などの懇親行事も盛りだくさんです。
- ② 部員が多いので、同級生や先輩後輩と交流でき、本当に楽しいクラブです。軽音楽部用の練習室があるので、授業の空きコマや放課後など、自分の都合に合わせて練習ができます。
- ③ 新型コロナウイルスの影響で、今年はほとんど活動ができなかったのですが、来年はたくさんライブをやって、軽音楽部をもっと盛り上げていきたいです。



代表からひとこと

阪井 大地さん（居住空間デザイン学科2年）



奈良・学園前キャンパス

卓球サークル

フリースタイルな卓球？自由に
楽しめるのがこのサークルの魅力。

- ① 毎週木・金の17:00から、10412教室で活動しています。部活的なハードな練習ではなく、自由に打ち合っで楽しむスタイルです。
- ② いろいろな学部や学年の初心者から経験者までが集うので、交流する良い機会に。週1回の参加でもOKだから無理なくサークル活動が続けられるはず。
- ③ 今年は新型コロナウイルスの影響で活動もままありませんでしたが、少しずつ活動を再開していきたいと思っています。



代表からひとこと

宮田 直輝さん（心理学科2年）



奈良・東生駒キャンパス

茶道部

初心者でも大丈夫。
茶道で美しい所作を身に付けましょう

- ① 毎週火曜日、第一クラブハウス2階にある新和室で活動しています。茶道の基本のお作法から、季節に合わせて変わる応用のお作法まで、正しく学ぶことができます。
- ② 初心者でも先生や先輩たちがゼロから教えてくださいます。お茶を学びながら、日常生活に必要な所作を自然と身に付けることができます。茶道の資格を取得することもできますよ。
- ③ コロナ禍でも、部員全員が安心・安全にお稽古をすることができること。新入生もぜひ入部してほしいです！



代表からひとこと

板東 仁美さん（法学科3年）



奈良・学園前キャンパス

Switch (ダンス)

コピーダンスがメイン。
男女関係なく
ダンスが好きな人はぜひ！

- ① 18号館3階の体育室で毎週火・木・金の週3回活動。主にコピーダンスをしています！新入生歓迎会の「あかね祭」と大学祭「虹色祭」でもステージでダンスを披露します！
- ② ダンスを始めたい！大学でもダンスがしたい！ダンスが好き！どんな理由でも構いません。もちろん初心者の方も大歓迎。男女関係なくみんなで仲良くできる環境です！奈良・学園前キャンパスは駅近なので参加しやすいです。
- ③ みんなで楽しくダンスするためにも、1年生にたくさん入ってきてほしいです！



代表からひとこと

東 真理子さん（こども学科3年）



奈良・学園前キャンパス

ボランティアサークル
ひまわり

児童や障がいのある方などの
対人援助に興味があるなら

- ① 主にボランティア活動の研修や紹介を行っています！また、ロッククライミングや綱渡りなどで仲間意識を育てる、アドベンチャーカウンセリングもしています！
- ② ボランティア活動に興味がある人や、授業以外でもっと心理学を学んでみたい人、人とかかわるのが好きな人におすすめです！
- ③ コロナ禍でも可能なオンラインを活用した取り組みを進めたいです。新しいことをどんどん取り入れていきたいと思っています。



代表からひとこと

新入生の皆さんがより良い大学生活を送れますように、帝塚山大学で、ぜひいろんな経験をしてみてくださいね！



クラブ・サークル活動紹介

クラブ・サークルを通じて、学内外で活躍する
帝塚山大学生の姿をお届けします。

令和2年度 課外活動表彰式を実施 2団体と11名が表彰されました



上：向井副学長を囲んで、皆で記念撮影
左：受賞者の活躍を称える向井副学長 右：表彰状授与。記念品は後日各受賞者に贈られる予定。

12月10日、奈良・東生駒キャンパス6号館大会議室で課外活動の表彰式を行いました。本表彰式は、当初は7月に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を延期していたものです。

本表彰は、体育会系・文化会系などの課外活動において優秀な成績を収めた団体または個人に対し、その栄誉を称えて表彰する制度で、今回は平成31(2019)年度・令和元年度(平成31(2019)年4月～令和2(2020)年3月)における活動に対して、2団体と11人の学生が表彰を受けました。

向井篤弘副学長から各団体と個人の活躍を称えるとともに、「コロナ禍という状況に負けずに、さらに上を目指してほしい」と激励の言葉が贈られました。

団体賞	優秀賞	レスリング部	代表：藤本 龍舞さん（経済学科4年）
	敢闘賞	硬式野球部	代表：松本 大地さん（経済学科4年）
	最優秀賞	レスリング部	喜多 佳佑さん（法学科4年）
	最優秀賞	レスリング部	中村 晟笙さん（法学科3年）
	最優秀賞	女子バレーボール部	吉田 美海さん（こども学科3年）
個人賞	優秀賞	レスリング部	松岡 大誠さん（経済経営学科2年）
	優秀賞	女子バレーボール部	大西 風歌さん（法学科2年）
	優秀賞	女子バレーボール部	中野 樹里さん（日本文化学科3年）
	敢闘賞	レスリング部	中村 晟悠さん（法学科3年）
	敢闘賞	レスリング部	荒木 孝介さん（法学科2年）
	敢闘賞	硬式野球部	松本 大地さん（経済学科4年）
	敢闘賞	硬式野球部	富山 海さん（経済学科4年）
	敢闘賞	なぎなた	山下 大輝さん（法学科3年）

※写真撮影の際、少しの間マスクを外しています。※学年は表彰時のもの

レスリング部 奈良・東生駒キャンパス



準優勝をはじめとする個人メダル獲得多数
リーグ戦では底力を見せるも来季への課題を残す

新型コロナウイルス感染症拡大のため、4月から9月までの大会が軒並み中止や延期となった近シーズン。10月ようやく開催された全日本大学グレコローマン選手権では5位入賞、西日本インカレ、西日本新人戦の両大会では、準優勝2名を含む7名がメダルを獲得しました。12月の西日本学生秋季リーグ戦では、各大学7名が戦うチームマッチに参戦しました。残念ながら3戦全敗で2部リーグへ降格となりましたが、どの試合も勝ち星を挙げることができ、1部リーグでも十分戦える力があることが証明されました。

硬式野球部 奈良・東生駒キャンパス

リーグ戦終盤での巻き返しならず
来季は念願の1部リーグ昇格へ奮起



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初の予定を遅らせての開幕となった2020年度秋季リーグ戦。本学が所属する2部東リーグは、全試合無観客の1試合総当たりのポイント制での実施となりました。本学は初戦、第2戦を続けて落とし、リーグ戦中盤に挙げた白星を挽回のチャンスとしたいところでしたが、最終的には1勝4敗の負け越しという残念な結果に終わりました。この悔しさをバネに来季での雪辱を誓う硬式野球部。1部リーグ復帰に向けて、チーム一丸となって挑みます。

ラグビー部 奈良・東生駒キャンパス

Cリーグ準優勝でシーズンを終える
来季のBリーグ復帰に期待

今季のラグビー関西大学リーグ2020 Cリーグの試合は、新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、無観客試合とすることが決定。Cリーグ所属の12チームを4ブロックに分けてのリーグ戦を行い、その結果に基づきトーナメント戦を行うという変則的な形式で実施されました。

本学はリーグ戦を首位通過し、トーナメント戦の初戦も順調に突破。Cリーグ優勝をかけた大阪大学との対戦が、12月6日、大阪大学吹田キャンパスグラウンドで行われました。前半の滑り出しは上々で大阪大学にリードしたものの、後半に猛攻を許して26-33で惜敗し、Cリーグ2位で今シーズンを終了しました。来季でのCリーグ優勝、Bリーグ昇格への期待がかかります。



Tezukayama Career Support 就職支援の取り組み

今後のキャリアセンター行事予定

(3年生(2018年度生)対象)

今年はオンラインでも実施 「学内合同業界研究セミナー」

※写真は2020年2月開催の様子



2021年2月 学内合同業界研究セミナー

本学学生の採用を希望する企業や、注目企業の担当者を招く学内での企業説明会。毎年多くの学生が内定を勝ち取る一大イベントです。例年は、まほろば(9号館2階)の大ホールで開催していますが、今年は新型コロナウイルスの影響を考慮して、各教室とオンラインによる実施に切り替え、万全の体制で就活を支援します。

3月 個別企業説明会・選考会

企業人事採用担当者による説明会の後、希望者に対しては筆記試験や面接などの選考も実施。企業理解を深めるだけでなく、1次選考を学内で行えるので、採用までがスピーディなのが特徴です。

スキルを磨く資格取得サポート

難関資格取得を応援する「A制度」 5,000円で年間最大5講座「B制度」



キャリアセンターの資格コーナーでは、学生のキャリア形成や就職活動支援ができるようにさまざまな講座を開講しています。税理士や公認会計士、司法書士などの難関資格取得への挑戦を支援する特別資格サポート制度「A制度」や、主として1~2年生を対象に基礎的な資格取得を目指して、年間申込金5,000円の自己負担で年間最大5講座まで受講できる同サポート制度「B制度」により、負担費用の軽減を図っています。

詳しくは 資格取得講座サイトへ
<https://www.tezukayama-u.ac.jp/career/extension/>

キャリアセンターより

「就職活動」は自分を見つめ、理解し、未来をイメージして、将来の生き方を明確にしていく自分探しの旅でもあります。就職活動の主役はもちろん学生本人ですが、保護者やご家族は心の支えとなる重要な存在です。

キャリアセンターでは、学生が自らの意思で進路選択や就職決定ができるよう多種多様なサポートプログラムを実施するとともに、学生一人ひとりの希望やニーズを把握、確認しながら、

就職活動の進捗状況に合わせてきめ細かい支援を行っています。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、個別相談や集合ガイダンス、学内での個別企業説明会などの就職支援行事は主としてWeb会議ツール「Zoom」を利用したオンラインにより実施(一部、対面実施)し、例年とは異なる状況下で就職活動に臨む学生に対して、対面と同等以上のサポートを行っています。

保護者、教職員、キャリアセンターが三位一体 帝塚山大学の就活サポート体制

保護者教育懇談会において就職説明会を実施しました



10月18日、奈良・東生駒キャンパスおよび奈良・学園前キャンパスの両キャンパスで、保護者の方々を対象に教育懇談会を開催し、午前の第1部では就職説明会を実施しました。

奈良・東生駒キャンパスでは、株式会社ディスコの井野口 美幸氏に、奈良・学園前キャンパスでは同社の、湯田平 隆氏に「現在の就職環境と保護者としての就職支援方法」と題して講演していただきました。講演では、あらゆる業界が新型コロナウイルスの影響を受け、就職活動の進め方も大きく変化していることについて解説。特に打撃を受けている業界である「B to C産業」について触れ、このような状況下だからこそ、好不況の影響を受けにくい「B to B産業」に目を向けることが大切であると説明されました。

両キャンパスで毎日のようにキャリアイベントを実施

3年生(2018年度生)対象就職ガイダンスのほかにも盛りだくさん さまざまなキャリアイベント



6月から、3年生を対象に就職・進路ガイダンスを開催しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主としてオンラインによる実施となりましたが、参加率は昨年度よりも高く、就職活動に対する学生の意識の高さがうかがえました。

そのほかにも、就職活動スタートアップ講座に始まり、10月には就職活動に向けての具体的な対策とその方法について説明会を実施。11月以降も就職ガイダンスと並行して、多岐にわたる就活サポート行事を実施しています。

就活サポート行事実施例 (一部抜粋)

- 公務員受験ガイダンス
- 職務適性テストの実施
- SPI試験対策講座
- 求人票の見方を学ぶ講座
- 業界・業種・職種研究講座
- 就職情報サイトを利用したエントリー・受験方法のガイダンス
- 就職活動のためのマナー講座
- 履歴書用証明写真の学内撮影会 など

3年生対象「業界研究講座」を開催



企業の人事採用担当者を学内に招き、実際の仕事について理解を深めることを目的としたセミナーを開催しました。進路選択のミスマッチを防ぐために、各産業の構造や実際の仕事の内容を深く知るだけでなく、職業意識を高める機会としています。

今年は新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となりましたが、製造業、卸売業、金融業、各種サービス業など、多数の企業担当者に講演いただき、盛況に終わりました。

1day 仕事体験会を開催



9月15日、奈良・学園前キャンパスにおいて、3年生を対象とした「学内1day 仕事体験会」を開催。本イベントは昨年まで「学内インターンシップ」と銘打って実施していたものです。

当日は、企業3社(建設、IT、フードサービス)にご協力いただき、3年生72名が各企業の主たる業務について理解したうえで、2クール制での仕事体験に臨みました。異なる業種の仕事を体感し、今後の就職活動での「業界・企業研究」に大いに役立つ1日となりました。

本学限定の個別会社説明会



4年生の就職活動を支援するために、本学学生の採用を希望する企業による個別企業説明会を実施しました。

帝塚山大学生に限定して実施する本説明会は、希望者は説明会参加後に筆記試験や面接などの採用選考に進むことができます。

今年は、新型コロナウイルス感染症への配慮から、オンラインと対面を組み合わせ実施し、9月から12月にかけて、優良企業30社に参加していただき、多くの学生にとって内定獲得へのチャンスとなりました。

Career Report 内定者速報



就職活動では、自分を見つめなおすことが鍵に。自己開発ゼミナールを受講して知らなかった自分に気付けた。

内定先

株式会社 船井総合研究所

文学部
日本文化学科 4年
森本 日奈さん

1、2年のうちは、自分のやりたいことすらわからず、将来のビジョンも描けていませんでした。ましてや就活など、何から手を付けてよいか戸惑うばかりでした。

そんな私がキャリアセンターを利用しはじめたのは、バス停の看板で「自己開発ゼミナール(以下、自己ゼミ)」の案内を見かけたのがきっかけです。自己ゼミでプロの講師に指導いただいたことで、自分の核になるものを見つめなおすことができ、未来が大きく広がりました。コンサル企業に内定できたのも、自己ゼミを通じて、自分は「ひとつの物事を深く考えることで誰かの役に立ちたい」と気付くことができたのが勝因だったと思います。

学生に寄り添い、サポートしてくれる帝塚山大学のキャリアセンターは、就活の大事な羅針盤です。「何から始めたら…」と悩む時間があつたら、まずはキャリアセンターを訪ねてみましょう。



建築士への夢をかなえるために資格講座をフル活用。目標がぶれずに就活を進められたのはキャリアセンターあってこそ。

内定先

大和リース 株式会社

現代生活学部
居住空間デザイン学科 4年
平井 恵利香さん

1年生のうちからキャリアセンターの資格講座を活用してMOSなどのPCスキルを磨き、入学したときからの夢でもある建築士の仕事に役立てようとAdobe®や商業施設士、CADの講座も受講しました。

就活を本格化させたのは、3年生の夏から。建築関連企業にインターンシップに行き、業界知識を身に付けました。その後、建築業界に絞って企業を探し始めました。内定先の企業は先生からの情報をもとに、キャリアセンターを訪ねたことが契機に。情報収集のためにもキャリアセンターは早めに利用すべきだと実感しました。

内定を決めた今、これから就活をする皆さんに伝えたいのは、資格も大事だけど、単位は早めに取得しておいた方が安心だということ。居住空間デザイン学科なら、特に製図とCADは授業をしっかりと受講する。それだけで企業からの評価でもプラスになりますよ。

奈良学への招待

明治17(1884)年の日本には、40,749人の医師が開業していました。医師数は、明治32(1901)年まで減少したのち、明治45(1912)年によろやく1884年の水準に回復しました。現住人口10万人当たりの医師数(人口10万対医師数)は、1884年に104人、1890年に84人、1900年に69人、1910年に67人と漸減していきました。

漢方医学から西洋医学に転換を図った明治期は、医師が減少した時代です。明治初期まで医師の大多数を占めていた漢方医は、加齢とともに引退します。

明治時代の医師の分布

文学部

日本文化学科 教授 川口 洋

大学所蔵紹介

今回紹介するのは、鎌倉時代の建長二年(一二五〇)十二月十五日の日付を有する寂心田地売券です。売券とは、財産の売買にあたって売主から買主へ渡される売買契約書のことをいいます。

本文書で売買されたのは、大和国平群郡飽波郷(現生駒郡安堵町)の字池頭にあつた田(広さは一段)です。もとは源中子の所有地でしたが、彼女の死後、右衛門入道寂心が長智という僧に米七石で売却したと記されています。

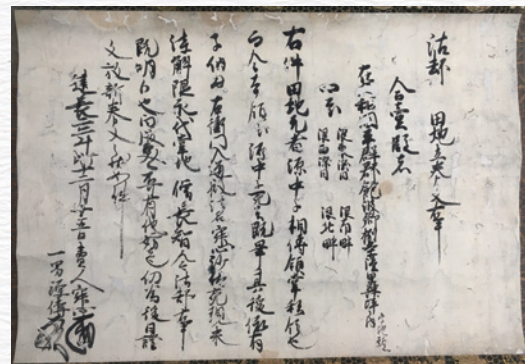
ここで売買された田に関する売券

寂心田地売券

文学部

日本文化学科 准教授 花田 卓司

は、「京都大学所蔵東大寺文書」と東大寺図書館所蔵の「東大寺文書」(国宝)にも残されています。土地が売買される際は、その土地に対する権利証文のすべてを売主から買主へと渡すのが原則なので、寂心田地売券もかつては「東大寺文書」の一部だったはずですが、東大寺は明治初期の廃仏毀釈により、大量の古文書が寺外に流出しました。本文書も明治期以降に東大寺から流出した文書のうちの一点と考えられます。



▲寂心田地売券 / 建長2年(1250年)



▲蘭方医・桑田立斎による牛痘児の図(木版) / 嘉永3(1850)年(個人蔵)
天然痘を擬人化した痘瘡神が牛痘接種法によって退散する姿を描いている。E.ジェナーのワクチン(種痘)発見まで予防法がなかった天然痘は、多くの命を奪った。

本学教員の執筆図書紹介

執筆図書一覧

本学教員の著作は、教育研究活動成果の公開を目的として、奈良・東生駒キャンパス図書館本館と奈良・学園前キャンパス図書館分館の「業績図書」コーナーに配架されています。

教員名	所属/役職	分類	書籍名	出版社	著者名	発行年月	価格
柳 元和	現代生活学部 食物栄養学科	分担執筆	三訂 公衆衛生学 (管理栄養士講座) 第4版	建邦社	伊達ちぐさ、松村康弘編 著	2020年 6月	3,800円+税
志垣 瞳	名誉教授	分担執筆	どんぶり・雑炊・おこわ (別冊うかたま、伝え継ぐ日本の家庭料理)	農山漁村文化協会	日本調理科学会 企画・編集	2020年 8月	1,600円+税
中川 雅明	経済経営学部 経済経営学科	主著	新しい農業経済論:マクロ・ミクロ経済学とその応用 新版 (有斐閣ボックス 382)	有斐閣	山口三十四、衣笠智子、中川雅明 著	2020年 9月	2,300円+税
辻川ひとみ	現代生活学部 居住空間デザイン学科	主著	最短で学ぶVectorworks 建築製図とプレゼンテーション	学芸出版社	辻川ひとみ、吉住優子 著	2020年 9月	3,000円+税
藤原 永年	現代生活学部 食物栄養学科	分担執筆	食品衛生学 第4版 (エクスパート管理栄養士養成シリーズ)	化学同人	甲斐達男、小林秀光 編	2020年 9月	2,700円+税
岩橋 明子	現代生活学部 食物栄養学科	分担執筆	カレント公衆栄養学 改訂	建邦社	由田 克士、荒井 裕介 編著	2020年10月	2,700円+税
志垣 瞳	名誉教授	分担執筆	年取りと正月の料理 (別冊うかたま、伝え継ぐ日本の家庭料理)	農山漁村文化協会	日本調理科学会 企画・編集	2020年11月	1,600円+税
石田 慎二	教育学部 こども教育学科	分担執筆	子どもを支える家庭養護のための里親ソーシャルワーク (MINERVAはじめて学ぶ子どもの福祉12)	ミネルヴァ書房	伊藤嘉余子、福田公敏 編著	2020年11月	2,600円+税

(発行年月順)



藤原仲麻呂と道鏡: ゆらく奈良朝の政治体制 (歴史文化ライブラリー504)
吉川弘文館 2020年8月発行 1,700円+税

伊丹市役所 都市活力度 都市整備室 営繕課 勤務(建築職)

森川 真帆さん

居住空間デザイン学科 2019年3月卒業

学業と課外活動に全集中の4年間
街づくりに、大学で身に付けたスキルが力に

伊丹市役所で建築職に就いています。市立の小中学校や共同利用施設、市営住宅など公共施設の新築や改修に関する設計、施工監理が主な仕事です。就職活動時は民間企業も視野にありましたが、多くの人に利用してもらえる施設づくりに魅力を感じて公務員に決めました。

居住空間デザイン学科は、CADや製図などで求められる課題の量が多くて大変でしたが、授業で培ったスキルが今の仕事でスピーディーに図面が作れるという大きな強みになっています。在学時は、希望の建築デザイン業界で生かせそうなAdobe®の資格にも、学内で開講される資格取得講座を利用してチャレンジしました。

インテリア実習の単位取得を諦めかけたとき、「森川さんの作品が見たい」と仰っていた先生がいると人づてに耳にし、期待に応えたい一心で3日間一睡もせずに模型を完成させたことがあります。常に気にかけてくださる先生がいるから自然とがんばれるというのが帝塚山大学の良さではないでしょうか。在学生の皆さんも先生を信頼して、何事にも全力で取り組んで将来につなげてほしいですね。

自分がかかわった現場はまだ少ないのですが、竣工後に施設が実際に利用されているのを目の当たりにしたときは達成感でいっぱいでした。これからも、私が携った建築物で市民の皆様を笑顔にしたい。伊丹市をより住みやすく魅力的な街にするために、一つひとつの現場を大切に、知識を磨いていきたいです。

京都市交通局(京都市営地下鉄) 勤務

佐藤 愁さん

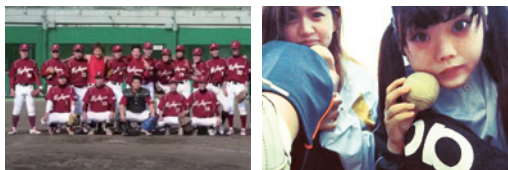
法政策学部公共政策学科(現:法学部法学科) 2013年3月卒業

先生との距離が近いから、
いろいろチャレンジできることがある

現在、京都市交通局で地下鉄烏丸線の運転士をしています。京都市の地下鉄(烏丸線・東西線)は、一日約40万人のお客様にご利用いただいており、安全、安心、快適に目的地まで送り届けるため、日々緊張感をもって仕事に当たっています。お客様は、観光目的のご利用も多く、「もう一度京都を訪れたい」と思っただけよう、一人ひとりのお客様に対して、丁寧に接するよう心がける毎日です。今では、業務について一通り語れるようになりましたが、運転士になるための試験勉強や、運転の実務研修では、思ったようにできずに苦労することもありました。そんなときに、手取り足取り教えていただいた指導員の先輩には、今も感謝の念しかありません。

在学時は勉強にも課外活動にも全力投球しました。刑事訴訟法から興味を持った少年非行のレポートのために図書館に通い詰め、課外活動では友人と新たにバレーボールサークルを立ち上げて大会へも出場するなど、充実した4年間を過ごしました。入学当初から公務員志望だったこともあり、いろいろな先生が面接練習や論文添削などに親身に付き合ってくくださったのは良い思い出です。先生との交流を通じて身に付いた目上の方への接し方は、今の仕事でのお客様対応に生かしているように思います。

先生と学生との距離が近く、やる気を引き出してくれる環境が整っていることが、帝塚山大学の魅力のひとつです。学問だけでなく、社会人の先輩として先生から学べることは無限にあります。在学生の皆さんも、できるだけ多くの先生と親交を深めて視野を広げてほしいですね。



在学時の思い出

課外活動では、中学校からの夢だった念願の野球部(軟式)のマネージャーに。部員と一緒にがんばった日々もかけがえのない思い出です。
▶【写真右】右側が森川さん。同じくマネージャーを務めた友人とボールを持って。

帝塚山大学の研究活動

大学にとって、学生への教育内容が最も大事なことであり、その教育の質を向上させるために重要な基盤となるのが、教員の研究活動です。大学教員は自身の専門分野において研究を追究し、そこで得られた知見を大学での教育活動に生かすことで、学生に新たな知識をもたらす存在でもあるのです。

地域の知の拠点を目指す本学は、特にこれらの研究教育活動の成果が地域社会に還元され、地域社会の活性化へ寄与することを重要視しています。大学が行う社会貢献や地域貢献は、大学の研究教育活動により得られた知識や知見、ノウハウなどで、地域社会を活性化することを目的としなくて

はなりません。特に、本学では教員の研究成果を核とする地域連携や産学官連携活動に学生がかかわり、教室では得られない「生きた知識」と「実践力」を身に付けることが、学生を実社会で真に役に立つ人材へと育てるために必要不可欠であると捉えています。

研究と教育を両輪に活動を進め、地域で信頼される大学となる。「実学の帝塚山大学」を標榜する本学は、学生への教育内容の質を一層向上させるためにも、教員の研究活動をバックアップすることは、大学の使命でもあります。本学では、科学研究費獲得のほか共同研究や受託研究などの産学官連携活動を支援し、教員の研究活動をサポートしています。

帝塚山大学教員紹介データベース

大学HP上で教員の研究実績やプロフィールについて公開し、情報を発信しています。また、「研究分野から探せる教員リスト」では、50以上の研究分野を網羅し、各分野を専門とする教員を紹介しています。

帝塚山大学教員紹介データベース

<https://www.tezukayama-u.ac.jp/teacher/index.html>

研究分野から探せる教員リスト

<https://www.tezukayama-u.ac.jp/teacher/genre.html>



▲帝塚山大学教員紹介データベース

帝塚山大学の研究活動を知るためには

帝塚山大学学術機関リポジトリ (Tezukayama University Repository)

大学には研究教育成果を永続的に公表する知の拠点としての社会的義務があります。学術成果のオープンアクセス化という世界的な流れを受け、各大学に設けられた学術機関リポジトリ(Institutional Repository)は、学術雑誌論文や学会発表の資料など、大学など研究機関による知的生産物を収集・蓄積・保存し、無償で発信するためのインターネット上の保存庫のようなものです。登録された研究教育成果は、世界中から全文アクセス可能なため、論文の参照や被引

用の増加が見込め、研究者としての評価にもつながります。本学では大学および研究所が発行する紀要論集、研究報告書や各種補助金の成果報告書に加え、教員や研究生だけでなく学生がかかわった学術成果や、FD(Faculty Development)報告集をはじめとする大学の各種活動報告なども、学術機関リポジトリで公開しています。



▲法学部末吉ゼミの学生らによる奈良県の戦跡調査報告書も、学生の研究活動の成果として掲載。

紀要



大学や研究所などで発行する研究論文や調査報告書などを掲載した定期刊行物のことを指します。本学では、良質の研究が良質の教育に結び付くという考えのもと、研究成果の積極的な公開を目的として、開学した1964年から紀要を発行しています。最近では学術機関リポジトリで電子版のみを公開する紀要も増えました。

帝塚山大学出版会

帝塚山大学出版会は、本学の研究教育とその成果の発表を助成し、学術関連図書および教科書の刊行・頒布を目的として2006年に設立されました。学内の委員会の審査・承認を経た著作が1年に2、3冊発行されています。これまでに、さまざまな研究分野の学術書や教科書を含む30タイトルが刊行されています。刊行物はAmazonで購入することができます。ほかにも、帝塚山学園による学術研究等出版助成制度を設け、本学の研究教育成果の公表を強力にバックアップしています。



科学研究費について

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金)は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビュー(専門分野の近い複数の研究者による審査)により、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

【2020年度実績】(代表者のみ、継続・延長含む)

基礎研究 (A)	代表	高齢ドライバーの生理的老化及び病的老化と運転行動の関係に関する基礎的研究
若手研究 (B)	代表	空港および航空会社間の競争が航空ネットワーク形成に与える影響の検証
基礎研究 (C)	代表	低自己評価者の対人ネットワークの拡大を支える重要他者の制御資源保存機能
基礎研究 (C)	代表	大名家を介した地域文化と都市演劇文化交流史の研究
基礎研究 (C)	代表	日本古代尼寺の考古学的研究
基礎研究 (C)	代表	長期保有株主に対する優遇策
基礎研究 (C)	代表	オランダにおける就学前教育機関と親とのパートナーシップ形成に関する実証的研究
基礎研究 (C)	代表	小規模保育施設における保育運営と建築計画に関する基礎的研究
基礎研究 (C)	代表	医療施設の病床再編に伴う建築資源の再構築に関する基礎的研究
基礎研究 (C)	代表	写真法で客観測定した食事時刻・栄養摂取とサーカディアンリズムに関する疫学研究
基礎研究 (C)	代表	サービス人材の業務能力と問題解決スタイルが顧客価値に与える影響：旅館を中心に
基礎研究 (C)	代表	寺院の文化財を撮影したガラス乾板写真資料の総合的・基礎的研究
基礎研究 (C)	代表	研究開発投資の調整過程に関する実証的検証
基礎研究 (C)	代表	介護保険サービス提供における営利法人に対する政策的対応および政策理念の変容
基礎研究 (C)	代表	看護学生の自己確立と他者受容を促すパーソナル・ライティングの開発と拡張
基礎研究 (C)	代表	ベアレント・トレーニング基本プラットフォームの普及と効果検証に関する研究
基礎研究 (C)	代表	キャリアとワークライフバランスに関する人事データをを用いた実証分析
基礎研究 (C)	代表	国語教育学の発展における日本語学が果たした役割に関する研究－昭和前期を中心に－
基礎研究 (C)	代表	ADHD 児童の中枢性疲労における行動・認知・分子基盤の解明
基礎研究 (C)	代表	養殖魚の抗酸菌感染症解明による食の安全性確保に資する基礎研究
若手研究	代表	鉄道技術者の関係性・ネットワーク形成に関する研究－技術者間の競争と協調に着目して
若手研究	代表	履歴と言説の追跡による仏像彫刻の再検討－戦前期国宝指定事例を中心に－
若手研究	代表	安全に関わる教育的介入の効果に関する挑戦的研究：介入は「本当に」効果的か？
研究活動スタート支援	代表	20世紀初頭のアメリカのハイスクールにおける「生物学」の歴史の変遷に関する研究

・文科省が所管する科学研究費

心理学部	心理学科	教授	蓮花 一己
経済経営学部	経済経営学科	准教授	寺地 祐介
心理学部	心理学科	教授	谷口 淳一
文学部	日本文化学科	教授	後藤 博子
文学部	日本文化学科	教授	清水 昭博
法学部	法学科	教授	福本 葵
教育学部	こども教育学科	教授	松浦 真理
現代生活学部	居住空間デザイン学科	教授	辻川 ひとみ
現代生活学部	居住空間デザイン学科	准教授	小宮 瑞香
現代生活学部	食物栄養学科	教授	石塚 理香
経済経営学部	経済経営学科	教授	姜 聖浩
文学部	日本文化学科	教授	鶴森 浩幸
経済経営学部	経済経営学科	准教授	蟹 雅代
教育学部	こども教育学科	教授	石田 慎二
全学教育開発センター		准教授	谷 美奈
心理学部	心理学科	講師	式部 陽子
経済経営学部	経済経営学科	教授	井川 静恵
教育学部	こども教育学科	准教授	吉田 雅昭
		客員教授	山本 隆宣
現代生活学部	食物栄養学科	教授	藤原 永年
経済経営学部	経済経営学科	准教授	富田 新
文学部	日本文化学科	教授	杉崎 貴英
心理学部	心理学科	講師	森泉 慎吾
教育学部	こども教育学科	講師	日高 翼

基礎研究 (A) 2017年度採択

高齢ドライバーの生理的老化及び病的老化と運転行動の関係に関する基礎的研究

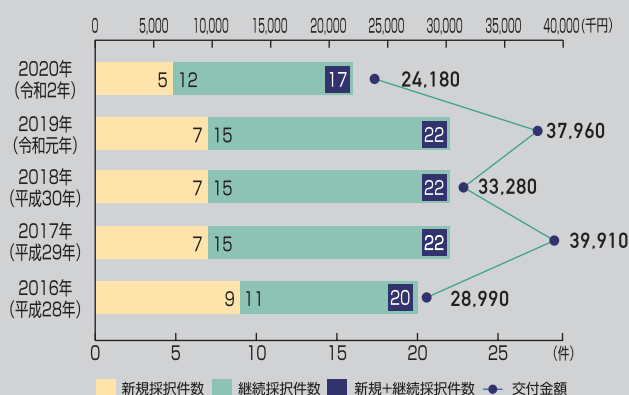
代表研究者 心理学部 教授 蓮花 一己

研究期間 2017年4月1日～2021年3月31日

本研究は、生理的老化(正常老化)と病的老化を区別して、病的老化が運転行動に及ぼす影響を調べる。高齢者の運転に関係する生活・健康状態、認知機能、運転行動に関する「高齢運転データベース」を構築し、次に高齢ドライバーの脳機能状態の低下が一般道路での運転行動に及ぼす影響を検証し、適切で効果的な介入手法を検討する。



本学の科学研究費採択件数および交付金額推移



旧1号館 三碓の丘にそびえ立つ学舎



Tezukayama University Archives Vol.1 帝塚山大学歴史絵巻

1964年(昭和39年)に本学が教養学部のみで女子大学として開学した翌年から、耐震基準の見直しと老朽化により取り壊されることとなった2007年(平成19年)まで、教養学部とともに本学のシンボルともいえる校舎でした。開学の年にはまだ完成しておらず、入学式は学園前キャンパスで挙行政され、初年度の授業は帝塚山短期大学の円型校舎の4階を間借りして実施されていました。1965年(昭和40年)、三碓の丘に完成した旧1号館はエレベーターを備え付けた9階建てで、後にできた阪奈道路から真正面にその威容を捉

えることができました。当時は梅田の阪急百貨店ですら8階建てであったので、新校舎を目にしたときの学生の感激もひとしおだったといえます。旧1号館に続いて1965年(昭和40年)には学生寮が大学構内に建設され、1966年(昭和41年)にはLL教室を備えた2号館が竣工し、キャンパスはどんどん活気づいていきました。開学から50有余年を経て、旧1号館跡は6号館前の芝生広場に、学生寮はクラブハウスとなり、その後「セミナーハウス三碓」に変貌を遂げました。奈良・東生駒キャンパスで開学当時の姿を留めるのは、今や2号館のみとなっています。

EVENT & INFORMATION

UPCOMING SEMINARS 開催予定のイベント

公開講座 奈良学への招待 XIX

2020年度の「奈良学への招待」は、新型コロナウイルス感染症対策のため対面での講座を実施せず、お申し込みいただいた方に限定して講座動画を配信します。

本講座を通じて、新たな奈良の魅力に触れてください。

【配信期間】 2021年2月13日(土)～3月14日(日)

【受講料】 無料

【申込方法】 大学HP「公開講座ページ」の所定の申込フォームから視聴をお申し込みください。

【視聴方法】 大学よりメールで送られた視聴用アドレスにアクセスして視聴してください。

【配信講座】

- ・「奈良酒造業の伝統と革新」
河川 充男 教授 (帝塚山大学 文学部)
- ・「月刊紙『奈良県観光』と奈良の歴史・文化財」
鷲森 浩幸 教授 (帝塚山大学 文学部)
- ・「奈良時代の鬼形の変化～四天王像邪鬼を中心として～」
戸花 亜利州 講師 (帝塚山大学 文学部)
- ・「『横浜毎日新聞』が伝えたもの一人々のことばから」
依田 恵美 准教授 (帝塚山大学 文学部)

【お問い合わせ】

奈良・東生駒キャンパス 総務課 公開講座係
TEL:0742-48-9192 (平日9時～17時)

※予告なく、イベントが中止・変更される場合がありますので、最新情報は公式サイトで必ずご確認ください。

帝塚山大学 シニア向け公開講座
「もの忘れ」について知ってみよう

年を重ねるにつれて、「忘れっぽくなったな」と感じる方は多いと思います。中には「認知症」の始まりではないかと心配する方もいらっしゃると思います。

講座では、加齢による記憶機能などの変化や認知症について解説します。年を重ねながらご自分らしく過ごせる方法について、「心理学」を通して一緒に考えましょう。



講師 奥村由美子教授

【開催日時】 2021年2月26日(金)
10:30～12:00 (受付は10:00 から)

【開催場所】 奈良・学園前キャンパス16号館6階 16608教室 (予定)

【講師】 奥村 由美子 教授 (帝塚山大学 心理学部)

【定員】 30名(申込先着順)

【受講料】 無料

【申込方法】 大学HP「公開講座ページ」の所定の申込フォーム、もしくはハガキ、FAXにてお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご自宅で検温の上、体調が優れない方は受講をお断りします。当日はマスクの着用、手指消毒の徹底、千鳥席配置など感染症対策を行います。

【お問い合わせ】

奈良・学園前キャンパス 総務課 公開講座係
TEL:0742-41-4716 (平日9時～17時)

FUND RAISING

帝塚山学園80周年事業募金ご協力のお願い

帝塚山学園は令和3(2021)年に創立80周年を迎えます。その記念事業として「安全・安心と快適・エコキャンパスへの転換」と「学園講堂設備の整備」を重点施策とし、学び舎の環境整備を行うことといたしました。

総事業費6億円の予定で、その3分の1の2億円を募金目標に設定しております。

帝塚山学園の決意と本募金の趣旨をご理解いただきまして、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金目標額	2億円
募金の使途	キャンパス整備・充実のため ①パウダールームを含むトイレの快適・美装化 ②エコキャンパスへの整備 ③学園講堂設備の整備
募金の期間	令和2(2020)年1月から 令和4(2022)年3月まで

詳しくは、
<https://tezukayamagakuen.jp/80th/anniversary/donation/>まで

募金についてのお問い合わせ、その他ご連絡は
帝塚山学園 理事長室 法人課
〒631-0034 奈良市学園南3丁目1番3号
TEL:0742-41-4509 / FAX:0742-48-9894

EXHIBITION

第13回博物館実習生による企画展示

附属博物館を設置する本学は、学芸員資格取得に必要な「博物館実習」を本物の史料に触れながら学内で行うことができます。本企画展示は、その学びの集大成として文学部の学生が企画、立案し毎年1月に一般に向けて開催するものです。



「雨花天晴 一魔除けと招福、日常の再来」

う か てんせい

【開催概要】

新型コロナウイルスによって私達の生活は大きく変化し、依然終息の気配は見えないですが、歴史的に疫病は必ず収束・終息しています。本年度の展示では、先人たちが疫病等の災禍等に対してどのように立ち向かったのか、関連する資料から紹介し、併せて福を呼び込むさまざまな資料から新しい年の始まりを祝いたいと思います。

【会期】 2021年1月8日(金)～2月9日(火) (予定)
午前10～12時 / 午後1時～4時
事前予約制 (見学は上記時間のうち1時間)
見学希望の3日前までに電話またはメールでお申込みください。

【場所】 帝塚山大学附属博物館

【入館料】 無料 【休館日】 日・祝、1月15日、16日、25日、26日

【お問い合わせ】

帝塚山大学附属博物館 TEL:0742-48-9700

<https://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/>

※予告なく、イベントが中止・変更される場合がありますので、最新情報は公式サイトで必ずご確認ください。

FINANCIAL REPORT

令和元(2019)年度決算について(報告)

帝塚山大学を設置する学校法人帝塚山学園の令和元(2019)年度決算が、令和2(2020)年6月22日開催の理事会において承認されましたので、決算の概要をお知らせします。

【収入】

収入の主たる科目は次のとおりです。

- ・学生生徒等 納付金対前年度 2億2千万円の増
 - ・寄付金 対前年度 3千万円の増
 - ・補助金 対前年度 1千9百万円の増
 - ・雑収入 対前年度 5千8百万円の減
- 収入全体としては前年度と比較して1億8千6百万円の増となりました。その主な理由は学生数の増加ですが、他には学園創立80周年記念募金の受入も寄与しています。

【支出】

支出の主たる科目は次のとおりです。

- ・人件費 対前年度 1億1千万円の減
 - ・教育研究経費、管理経費 対前年度3千3百万円の減
- 支出全体としては前年度と比較して1億8千万円の減となりました。

その主な理由は教職員の定員管理継続による人件費の減少、空調設備更新などの大型工事

の減少、契約見直しによる委託業務費や保守料の縮減等によるものです。

【収支差額】

基本金組入前当年度収支差額(旧 帰属収支)は4億3千万円の支出超過となりました。前年度と比較して支出超過が3億6千6百万円改善しましたが、更なる改善が必要です。令和2(2020)年度入試において、大学での4年連続の入学定員を上回る学生確保をはじめ、各学校において概ね定員を確保することができました。学部学科の再編、入学定員の見直し、授業料の改定、教職員定員管理の適正化等、諸施策を役員・教職員が丸となって取り組んだ結果が表れてまいりました。

また、令和元(2019)年度最終の四半期において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け多くの学校行事を中止し、臨時休校の措置をも取



らざるを得なくなりました。令和元(2019)年度の決算数値に影響を及ぼすものではありませんでしたが、令和2(2020)年度の財政には影響が生じる可能性は否めません。

【基本金組入額】

令和元(2019)年度の組入額は施設設備の取得に要した経費です。内訳の主たるものは大学校舎やクラブハウスの空調更新、教育研究支援システムの更新などです。

(単位:100万円)

平成29(2017)年度	580
平成30(2018)年度	590
令和元(2019)年度	400

AWARD

学長賞表彰式



新型コロナウイルスの影響により4月から延期されていた学長表彰表彰式を、11月10日、奈良・東生駒キャンパスで実施し、竹田大地さん(文化創造学科4年)が表彰を受けました。

竹田さんは、昨年11月、長谷寺(桜井市)において初瀬街道に古くから伝わる「初瀬追分」の奉納演奏を行い、独唱、三味線の演奏、バスクラリネットの単独伴奏の3パートに加え、「離子詞」のすべてを1人で担当。その4パートをデジタル合成した映像は、同寺の公式 SNS にアップされ、今も多くの人々に視聴されています。

竹田さんの活動は、地域の埋もれた文化資源を掘り起こし、その魅力を発信するという文学部の特色ある学びを体現したとして評価され、このたびの奨励賞受賞につながりました。

NOTICE

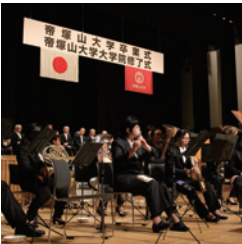
第54回 帝塚山大学卒業式
第29回 帝塚山大学大学院修了式

【日時】 2021年3月23日(火)
13時00分 開式
(入場受付:12時～12時30分)

【会場】 グランキューブ大阪(大阪国際会議場)

※2020年12月2日現在の予定

※新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、予定を変更する可能性がありますので、最新情報については大学HPで必ずご確認ください。



(写真は平成30(2018)年度実施 第52回帝塚山大学卒業式・第27回帝塚山大学大学院修了式)



2019年度 ニュージーランド短期語学研修



本学の留学制度には、休学せずに留学できる「海外留学奨学生制度」(正規留学1年/語学留学6か月)と約1か月の語学研修と異文化交流を体験する「海外短期語学研修制度」があります。後者の「海外短期語学研修制度」は、いわば海外留学の入門編。夏季休暇中は米国・ポートランド州立大学で、春季休暇中はニュージーランド・クライストチャーチ工科大学(Ara)で約1か月間語学を学び、国際感覚を養います。語学研修に加え、さまざまなアクティビティを通じて異文化を体験できるので、本格的な留学の前の海外経験としても最適です。



2020年の2月中旬から3月初旬にかけて実施したニュージーランド短期語学研修では、合計10名の学生が参加しました。女子7名は奈良・学園前キャンパス所属、男子3名は奈良・東生駒キャンパス所属というユニークなチーム編成で2月14日に、関西国際空港を出発。海外旅行が初めてという学生もいて前日深夜まで荷造りしたという声も聞かれました。

研修はAraのティマルキャンパスで行われ、学生は、午前中は教室内の英語授業、午後はさまざまなアクティビティプログラムを体験し、景観地や博物館、教育機関などを訪れました。こども学科

とこども教育学科の学生は、現地の小学校の授業を見学して子どもに折り紙を教えたり、ラグビー部所属の学生は本場・NZの地元クラブチームの練習に参加したりするなど、貴重な機会にも恵まれました。

参加した学生からは、「自分の意思を伝えることの大切さに気付いた」、「研修での経験を生かし、自分に自信を持って何事にもチャレンジしていきたい」、「日本で当たり前のことが海外では当たり前ではないことがわかった」などの感想が聞かれ、異文化体験や、交流を通じて大きく成長した様子がうかがえました。

【Araについて】

正式名称はAra Institute of Canterbury。NZの南島最大の都市クライストチャーチにある国立のクライストチャーチ工科大学(CPIT)とティマル市にあるアオラキ工科大学が合併してAraが誕生しました。本学はもともとCPITと協定を結んでいたこともあり、Araになってからも良好な関係を継続しています。



2021年度 学部入試日程一覧

入試制度	出願期間			試験実施日	合格発表
	開始	終了 (最終日消印有効)	窓口受付日*		
一般選抜	A日程前期	12月23日(水)	1月20日(水) 1月21日(木)	1月25日(月) 1月26日(火)	2月1日(月)
	A日程後期	2月4日(木)	2月5日(金)	2月7日(日)	2月12日(金)
	B日程	1月19日(火)	2月12日(金) 2月13日(土)	2月16日(火) 2月17日(水)	2月26日(金)
	C日程	2月10日(水)	2月26日(金) 2月27日(土) 3月1日(月)	3月3日(水)	3月10日(水)

※ 願書の窓口受付は奈良・東生駒キャンパス入試広報課でのみ受け付けます。
(平日) 9:00~17:00 (土曜日) 9:00~13:00

入試制度	出願期間			試験実施日	合格発表
	開始	終了 (最終日消印有効)	窓口受付日*		
大学共通テスト 利用入試	前期	12月23日(水)	2月4日(木)	—	個別学力 検査は 実施 しません。
	後期	2月10日(水)	2月26日(金)	—	2月12日(金)
帰国生徒・外国人 生徒試験 外国人留学生試験	後期	1月12日(火)	1月21日(木)	—	2月26日(金)
	後期	1月12日(火)	1月21日(木)	—	2月26日(金)
総合型選抜 3月自由応募型	2月22日(月)	3月5日(金)	3月6日(土)	3月10日(水)	3月11日(木)

【お問い合わせ】 帝塚山大学 入試広報課

TEL 0742-48-8821(直通) FAX 0742-48-9021 nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

2021年度 大学院入試日程一覧

博士前期課程春季募集・博士後期課程

出願期間 1月22日(金)~1月29日(金)

締切日消印有効

選考日程 2月10日(水) 合格発表 2月17日(水)

※選考方法などについては、右記までお問い合わせください。

人文科学研究科 日本伝統文化専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
TEL 0742-48-8150 [教学支援課(文学部)]

心理科学研究科 心理学専攻 (心理学専修・臨床心理学専修)

〒631-8585 奈良市学園南3丁目1-3
TEL 0742-41-4720 [教学支援課(心理学部)]